





キャンドルサービス

プログラムの概要・ねらい

キャンドルの火を輪になって囲むことで、参加者の連帯感や親睦を深めることができる。

内容によっては、キャンプ生活の導入や振り返りなどに用いることもできる。ねらいによって、内容や実施方法が大きく異なる。

場所	プレイホール・集いのホール・学習室 AB	   
時間	1時間～2時間	
値段	料金表参照	
季節	年間	
人数	10～200人程度	
準備物	<p>【利用者】ライター、活動に適した服装、救急用品 キャンドル(直径15～20mm)、キャンドルトーチ</p> <p>【自然の家】材料(キャンドル10本、キャンドルトーチ2本、アルミカップ10枚)、アルミホイル、燭台、防災シート、スクレーパー ※追加キャンドルトーチは必要に応じて</p>	

①準備

サービスセンター受付で、燭台・材料を受け取る。
垂れたロウを受けるために、アルミカップ(写真①)を載せる。
防災シート(写真②)を広げ、その上に燭台を設置する。
※資料「キャンドルサービス実施手順(準備・片付け)」参照

②実施の流れ

キャンプファイアの雨プログラムとして用いられることが多いが、元々キャンドルサービスには「お祈り」という意味があり、キャンプファイアの火と比べ、厳かな雰囲気を出すことができる。最後の夜の振り返りプログラムとして、キャンドルサービスを用いることもできる。

- ※点火用キャンドルトーチは太い方を持ち手にし、アルミホイルを巻いて持ち手を保護する。(写真③)
- ※一人一人がキャンドルを手を持つことは、安全面及び床へロウが垂れるため行わない。
- ※実施する部屋によって音響機器の設備が異なる。
(資料「キャンドルサービス実施手順(準備・片付け)」参照)



<プレイホール>

<学習室AB>






<集いのホール>



③後片付け

備え付けの掃除用具で、床をモップがけする。
資料「キャンドルサービス実施手順(準備・片付け)」参照
※部屋の清掃状況について、スタッフのチェックがあるので、サービスセンター受付へ連絡する。

キャンドルサービス実施手順（準備・片付け）

集いのホール		備考
手 順		一人一人が手持ちのキャンドルで行うキャンドルサービスは原則、行うことができない。
実施前	<p>燭台が入っている調整室は、スタッフが開けるので、サービスセンター受付に申し出る。 （自然の家でキャンドルサービスセットを購入した場合は、同時に受け取る）①</p>	① 
	<p>スタッフが調整室から燭台を出す。② 燭台の下に防災シートを敷く。</p>	② 
	<p>ろうソク立てにアルミカップを乗せ、キャンドルをセットする。③（ろうが垂れるのを防ぐ） トーチ用キャンドルにアルミホイルを巻く④</p>	③ 
	<p>マイクの準備をする。 （操作盤は調整室内）</p>	④ 
	<p>電源の位置を確認し、音響等の準備を行う。 （備え付けの音響機器を使うこともできる）</p>	<p>⑤ ※点火用トーチは太い方を持ち手にして使用する。</p>
キャンドルサービス 実施		
実施後	<p>アルミカップ、キャンドルを取り外す。 燭台についてのろうをスクレーパーで落とす。⑤</p>	⑤ 
	<p>床に垂れたろうの掃除をする。 （掃除道具は、調整室内に設置）</p>	
	<p>部屋の清掃状況について スタッフのチェックを受ける。 （内線225番）</p>	<p>※使用したキャンドルは持ち帰り不要であればケースと一緒にサービスセンター受付に返却。</p>


※事前に消火器の位置をご確認ください。

※やけどにご注意ください。

キャンドルサービス実施手順（準備・片付け）

実施前

実施後

プレイホール	学習室AB	備考
手 順		一人一人が手持ちのキャンドルで行うキャンドルサービスは、行うことができません。
鍵とキャンドルサービスセットを同時に受け取る①	鍵とパーテーションを開けるハンドル、キャンドルサービスセットを同時に受け取る①	① 
燭台をサービスセンター裏から運ぶ。(受付に申し出る)② 燭台の下に防災シートを敷く。	燭台を学習室内倉庫から出す③ 燭台の下に防災シートを敷く。	②   〈プレイホール〉 〈学習室AB〉
キャンドル立てにアルミカップを乗せ、キャンドルをセットする。④ (ロウが垂れるのを防ぐ) トーチ用キャンドルにアルミホイルを巻く。⑤		④  ⑤ 
マイクの準備をする。 (操作盤は倉庫内およびCW右手側に設置)		
電源の位置を確認し、音響等の準備を行う。 (備え付けの音響機器を使うこともできる)	電源の位置を確認し、音響等の準備を行う。 (備え付けの音響機器はなし)	
キャンドルサービス 実施		
アルミカップ、キャンドルを取り外す。 燭台についたロウをスクレーパーで落とす。⑥		⑥ 
床に垂れたロウの掃除をする。 (掃除道具は、倉庫内に設置)	床に垂れたロウの掃除をする。 (掃除道具は、廊下に設置)	※点火用トーチは太い方を 持ち手にして使用する。
部屋の清掃状況についてスタッフのチェックを受ける。 (内線225番)		
鍵をサービスセンター受付へ 燭台はサービスセンター裏へ返却する。	鍵をサービスセンター受付へ 燭台は学習室内倉庫へ入れる。	※使用したキャンドルは持ち帰り不要であればケースと一緒にサービスセンター受付に返却。

※事前に消火器の位置をご確認ください。

※やけどにご注意ください。